

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 ライチョウ保護普及推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 環境企画課 生物多様性係 電話番号：058-272-1111 (内 2701)

E-mail：c11265@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,500 千円 (前年度予算額： 3,077 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,077	0	0	0	0	0	2,896	0	181
要求額	1,500	0	0	0	0	0	1,500	0	0
決定額	1,500	0	0	0	0	0	1,500	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・県の鳥であるライチョウは、国の特別天然記念物及び「種の保存法」にて国内希少野生動植物種に指定されている。また、環境省や岐阜県のレッドリストにて絶滅危惧種に分類され、保護対策を講じるべき対象種である。
- ・平成30年度に「岐阜県ライチョウ保護計画」を策定した。今後は、保護計画に記載された生息状況等調査や環境教育をはじめとした普及啓発活動を実施する。

(2) 事業内容

ライチョウ保護計画に基づき、生息状況等調査や環境教育をはじめとした普及啓発活動を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県ふるさと環境保全基金を活用

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	105	
旅費	246	ライチョウ連携会議の開催
需用費	1,127	調査用品、啓発パンフレット作成
使用料	22	会議室使用料
合計	1,500	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

国：平成26年4月、第一期ライチョウ保護増殖事業実施計画を策定。平成26年11月、域外保全実施計画を策定。

県：第12次鳥獣保護管理事業計画により、鳥獣保護区、特別保護地区等で生息地を保護。平成30年度、「岐阜県ライチョウ保護計画」を策定。

(2) 国・他県の状況

国：南アルプス等における生息域内保全や、富山市ファミリーパークなど6園館において生息域外保全を実施。乗鞍岳からのライチョウ家族移植など、絶滅山岳におけるライチョウ復活の取り組みを実施。

他県：ライチョウが生息するとされるのは本県の他に、長野県、富山県、山梨県、静岡県、新潟県である。このうち、平成28年度、長野県は本県と協働して御嶽山での生息調査を実施。また、長野県・富山県・静岡市が県民参加型の目撃等情報共有システムを構築。

(3) 後年度の財政負担

平成30年度に策定した保護計画を実行するための事業に係る予算

(4) 事業主体及びその妥当性

県内に生息するライチョウの保護に資するため県主体の事業として妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

ライチョウ保護計画に基づき、生息状況等調査や普及啓発活動を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H)	(R)	(H)	(H)	(R2)	

○指標を設定することができない場合の理由

ライチョウの生態について多くの方に理解をしていただき、保全のための取り組みを普及することが目的であり、定量的な成果目標を設定することが困難なため

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

「第19回ライチョウ会議ぎふ大会」において、一般向けのライチョウシンポジウムを開催した。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

環境教育の推進により、県民にライチョウやライチョウを取り巻く自然環境に関心を持ってもらい、ライチョウ保護と生物多様性保全意識を醸成することが出来た。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	ライチョウは、限られた場所で生息する希少な鳥であることから、環境省や生息地を有する他自治体では保護対策が進められている。岐阜県として効果的で持続性のある保護対策を実施する必要性がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	国や県をはじめとする様々な機関のライチョウ保全の取り組みについて紹介することで、ライチョウ保護や生物多様性保全の重要性について学んでもらうことが出来た。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	平成30年度に策定した保護計画に基づいて、事業を計画的に進めることが出来ている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 定期的に計画の見直しや評価を行う必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 平成30年度に策定したライチョウ保護計画に基づき、事業を進めていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	